



とうおん

議会だより

2009年
第12号

平成21年2月1日発行



第2期 東温市議会議員

②③ ごあいさつ・
新議員の顔ぶれ

④⑤ 議会人事の紹介

⑥⑦ 補正予算・質疑

⑧～⑬ 一般質問

⑭⑮ 委員会報告

⑯ 討論・
松山法人会東温支部30周年記念コンサート

⑰ 特集 人シリーズ・市民の声

⑱ 特別委員会設置

年頭のごあいさつ 東温市らしさを活かした地域づくり

明けましておめでとう
ございます。

昨年11月の議会選挙に
より私達兩名が正副議長
の重責を担うことになり
ました。

議長
桂浦 善吾



副議長
伊藤 隆志



市民の皆様におかれて
は、輝かしい新春をご清
祥にお迎えのことと謹ん
でお慶び申し上げます。
また、平素は、市政の推
進と市議会活動に対し、
温かいご支援と多大なご
協力をいただき、心から
お礼を申し上げます。
さて、昨年10月新たに
選任されました18人の議
員は、市民の皆様のご
期待とご信任に基づきか
るさと東温市がこれから
も発展し続けるように、
一丸となって「東温市ら
しさを活かした地域づく
り」を果敢に進めていき
たいと考えております。
まず、市内の均衡ある
発展のために、都市近郊

型の農業の特徴を活かし
て、農産物を使った「東
温ブランド」の開発や
「地産地消」、「食育」
などの取り組みにより活
力に満ちた元氣な農業の
育成に今後とも力を注ぎ
たいと存じます。
また、東温市の位置的
条件と交通立地条件の良
さを活かした長期的・広
域的産業振興を一層推進
していきたいと考え、12
月議会において「市街地
見直し・地域活性化等調
査特別委員会」を設置す
ることも、今春、県
下全市議会による「愛媛
県市議会観光振興議員連
盟」を設立し力を入れて
おります。

も、地域コミュニティの
維持・再生が欠くべから
ざるものと考えており、
地域コミュニティの活性
化を一層支援してまいり
たいと存じます。また、
地域コミュニティ内のふ
れあいこそが、市民の皆
様が、安心して、生きが
いを感じながら自分らし
く暮らすために欠かせな
いものと考えておりま
す。



皆様のご健康とご多幸を心からお祈りいたします。
本年もよろしくお願い申し上げます。

議員一同 2009年



◎公職選挙法で年賀状（答札のための自筆によるもの以外）は禁止されており、
議会だよりにて新年のご挨拶をさせていただきます。



佐伯 強



大西 佳子



三棟 義博



近藤千枝美



酒井 克雄



平岡 明雄

(議席番号順)



玉乃井 進



佐伯 正夫



大西 勉



丸山 稔



相原真知子



片山 益男



山内 孝二



安井 浩二



渡部 伸二



細川 秀明

政治家の寄附禁止

贈らない・求めない・受け取らない

政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、
法律で禁止されています。違反すると、処罰されます。
有権者が求めることも禁止されています。

総務文教 委員会(6人)

- ◎玉乃井 進 議員
- 山内 孝二 議員
- 佐伯 正夫 議員
- 近藤千枝美 議員
- 酒井 克雄 議員
- 相原真知子 議員

厚生 委員会(6人)

- ◎安井 浩二 議員
- 丸山 稔 議員
- 桂浦 善吾 議員
- 伊藤 隆志 議員
- 渡部 伸二 議員
- 平岡 明雄 議員

産業建設 委員会(6人)

- ◎大西 佳子 議員
- 佐伯 強 議員
- 片山 益男 議員
- 三棟 義博 議員
- 大西 勉 議員
- 細川 秀明 議員

議会運営 委員会(7人)

- ◎大西 勉 議員
- 山内 孝二 議員
- 玉乃井 進 議員
- 大西 佳子 議員
- 佐伯 正夫 議員
- 安井 浩二 議員
- 近藤千枝美 議員

◎は委員長 ○は副委員長

平成20年11月14日、議員改選後初の議会臨時会が開催された、新議員4人を含む18人の議員が正・副議長の選出を行い、議席や今会議から3委員会となった常任委員会の所属など一連の議会人事を決定すると共に市長提案の各種行政委員会委員の選任を行った。決定された委員の皆さんをご紹介します。

議会運営委員会とは、議会の日程、一般質問の取り扱いなど議会運営を円滑に行うために必要な事項や議長からの諮問事項を審査します。

議会の人事

決まる



監査委員

- 佐伯 正夫 議員
- を選任

愛媛県後期高齢者医療 広域連合議会議員

- 大西 勉 議員
- を選任

教育委員

- 渡部 良温 氏
- 大政美智子 氏
- 菅野 邦彦 氏
- を任命

選挙管理委員 及び補充員

- 《委員》
- 森 良輔 氏
- 森 東洋司 氏
- 向井 祐子 氏
- 八木 和弘 氏
- を選任

代表監査委員

- 安部 修治 氏
- を選任

農業委員

- 玉乃井 進 議員
- を推薦

公平委員

- 高須賀一恵 氏
- 白川 雅彦 氏
- 高須賀瑞夫 氏
- を選任

《補充員》

- 小山 澄男 氏
- 津川 義明 氏
- 宮田 恵子 氏
- 内田 勝尉 氏
- を選任

12月3日から16日まで12月定例会が開催された。一般会計補正予算5億4,814万円等16議案と議員提案の意見書案1案を審議した。

特に特別会計の公共下水道特別会計補正予算では、重信浄化センター（南野田）の水処理設備工事について、愛大附属病院等下水道利用者が見込み以上に増加することから2010年度の完成を1年前倒しするとし、建設委託料7,000万円を加え20年度の予算規模は全体で232億6,388万円となった。

また、一般質問では、8人の議員の中で多くが1問1答方式を取り入れる等をして活発な質問を行った。

新たに「市街地見直し・地域活性化等調査特別委員会」（佐伯正夫委員長）が設置され、調査・研究することが決定された。



上林地区 正月飾り

平成20年度一般会計総額は121億3,554万円に5億4,814万円を追加

主な事業紹介

- 議員定数削減に伴う補正 $\Delta 503$ 万円
- 人事異動等に伴う職員給与費の補正 $\Delta 5,671$ 万円
- 臨時職員の賃金、社会保険料の補正 285万円
- コミュニティ施設整備事業補助金 放送整備（志津川・横瀬団地・樋口）、集会所整備（町東区）事業に対する補助金の補正 183万円
- 財政調整基金費 19年度の繰越金と20年度の普通交付税等の確定に伴う財政調整基金への積立金の補正 4億8,222万円
- 福祉関連事業国庫負担金返還金 前年度国庫負担金（生活保護費・保育所運営費・障害者自立支援給付費）の精算による返還金 809万円
- 減債基金費 456万円
- 減債基金への積立金の補正 1億円
- 重度障害者医療費 1,500万円
- 後期高齢者医療特別会計繰出金 48万円
- 児童手当支給業務 811万円
- 児童扶養手当支給業務 256万円
- 農業集落排水特別会計繰出金 $\Delta 242$ 万円
- 有害鳥獣捕獲事業補助金 50万円
- 公民館管理費 809万円
- 学校給食センター管理運営費 638万円
- 農業用施設災害復旧事業 76万円
- 公共下水道特別会計繰出金 $\Delta 1,265$ 万円
- 公民館管理費 809万円
- 燃料費、光熱費、加工用原材料費 406万円
- 公共下水道特別会計 9,849万円

質疑

問 「一般会計補正予算（第3号）」

答 コミュニティ振興費の内容と完成時期は、志津川区、横瀬団地区、樋口区の放送設備修繕と天神集会所下水道切替工事で年度末の完成予定である。

緊急時に備え改修・修理の必要が生じた場合は随時対応している。

問 財政調整基金の積み立ては、

答 歳入、普通交付税の確定、19年度決算の繰越金の確定の時期に合わせて行うものである。繰越の2分の1以上は次年度以降に基金あるいは減債基金に充てるという方針に基づいて実施した。

問 今回の補正、予測される社会不況による税収ダウンにより経常収支比率他の見通しはどうか。

答 経常収支比率は19年度89%と前年費から若干上がっているが、臨時財政対策債や合併特例債等の償還開始が要因である。県内ではいい方の段階である。

問 恒久減税に対する補正があるが何のことなのか。

答 11年度から18年度までであった減税補填特別交付金が地方税制改正により19年度から廃止されたことに伴う経過措置として19年度から21年度まで設けられた交付金であり、確定による補正である。

問 「公共下水道特別会計補正予算（第2号）」

問 見込み増ということでの補正だが内容は、

答 整備区域の拡大と愛媛大学附属病院の接続により流入量が増えるため重信浄化センターの処理施設を1基21年度末までに増設・完成させる必要があり補正に計上した。

情報管理係で全般管理をしている。機器入れ替えは、全体調整し適切に更新をしている。



天神集会所（町東）

一般会計 12月補正予算

「職員定数条例の一部改正」

問 消防職員の充足率はどうか。

答 総務省消防庁の整備基準と比べてかなり低く70%である。県下平均約80%で100%の自治体はほとんどないのが現状である。

「重度心身障害者医療費助成条例の一部改正」

問 後期高齢者へ移行ができる障害に該当する方が移行しないとした場合でも助成の対象となるのか。

答 本人の意向による申請に基づいて行っており、重度心身障害者への助成については移行するしないに関わらず助成の対象としている。

「土地改良事業計画（井内上地区）の変更」

問 この計画が決められた理由と一部変更になった理由は、また地すべり対策、景観への配慮は、

答 地元の意向により場所を決定し調整して最終になって湧水の関係や担

意見書案議決結果

○子宮頸がん予防ワクチンに関する意見書 原案可決

①子宮頸がん予防ワクチンの早期承認に向けた審査を進めること。

②予防ワクチンが承認された後は、推進のため接種への助成を行うこと。

③日本におけるワクチンの開発、製造、接種のあり方について世界の動向等も考慮し検討を進め対応すること。

以上3項目の要請を関係省庁に行った。

厚生委員会の審議において少数となった意見が本会議で報告された。

ヒトパピローマウイルスワクチンは遺伝子組み換え技術によって開発されたもので、有効性が限定的で、単独では根本的に予防が期待できない問題の多いもの。子宮頸がんの予防には、検診の啓発と性感染症予防の知識の普及、何より若年者への科学的な性教育がきわめて重要。ワクチンという薬物の導入は時期尚早。



土地改良事業

8議員 市政を問う!!

一般質問

第6回定例会

問 総事業合計122項目が協議され合併をしたが、特例債対象事業は、どのくらい進んでいるのか。

大石企画財政課長 合併特例債事業として15事業、事業費に対する特例債は約51億1、

新市建設計画事業の進捗状況は



酒井 克雄 議員

500万円(55%)を予定している。今年度末で7事業完了予定。

未着手事業は保健福祉総合センター、滑川青少年健全育成施設、消防車両購入3事業、防災行政無線周波数統合、文化芸術館整備、南吉井児童館建設の8事業であるが、今後見直しも含め十分な検討が必要と思っております。



新市建設計画事業「川上児童館」建設中

高須賀市長 定額給付金の給付時期は、年度末3月目標であるが、国会審議状況によって遅れることもある。

給付方法については郵送申請、窓口申請、窓口現金受領方法などがあるが、国からは振込みが望ましいとされている。

問 政府与党は追加給付金を実施するとしているが、支給方法、給付時期、事務的な煩雑化、地域通貨、金券、クーポン券等いろいろな導入を考えているが、このことについての考えはどうか。

また、給付金詐欺等について、市民に対しての対策は考えているのか。

問 確定申告の今後のあり方について、本庁と支所とで納税相談をしていたが、20年度は支所では一部の地域の方々が行っていないが、市民サービスの均衡を図るためにも今後の姿勢をどう考えているのか。

中川税務課長 今後の対応は地区ごとに相談日を割り振り、相談者の待ち時間の短縮を図りたい。川内支所での相談日数は、5日間に増やして対応したい。

高須賀市長 住民サービスの低下がないように慎重に検討したい。

あまり期待しない43%
全く期待しない36%
NHKの調査(12月8日付)
『定額給付金』
市の考えと取り組みは



佐伯 強 議員

い。プログラムの改修費用、郵送料、人件費等が必要。具体的な数字を示すことはできない。対応する組織等を設置し、進めてゆく。

高須賀市長 長期的な経済効果はないが、生活支援策としては一定の評価ができる。

問 税金について65歳以上の障害者控除対象者認定を限定しないで、県内6市3町で実施しているように、漏れなく認定できるようにすべきと思うがどうか。

池川介護福祉課長 特別障害者に限定していたが普通障害者まで適用し、平成20年分確定申告に対応できるように作業を進めている。介護認定では、要支援から介護度5まですべてである。

問 健康保険証がなく病院へ行けない子供が、全国で3万3千人以上いて、国会で問題になっている。東温市でも10人程いると聞くがどうか。子供の場合大人と

高須賀保険年金課長 廃止し、もとの制度に戻すことは問題先送りで解決されないと考える。

当市の滞納者数は10月末現在136人で3%

バス時刻表

問 6月3日に参議院で野党が可決した「後期高齢者医療制度の廃止法案」への見解はどうか。年金引き中止、扶養家族200万人をもとに戻す等々あるが、保険料が払えない人が全国で10数万人と予想されている。東温市で現時点でどうか。保険証はどうするのか。高齢者の保険証取り上げは直ちに命に直結するものである。

山内保健福祉部長 現在のところ拡大については考えていない。

問 梅本駅発のフジグランド重信ショッピングセンター行きバスが県営団地を経由するよう伊予鉄に申し入れてほしいとの要望があるがどうか。

加藤総務部長 要望したが、採算面で難色。実現性は乏しいと考える。

は少し違うと思うのでその対応をたずねる。

山内保健福祉部長 病院への一時払いが困難である旨の申し出がある場合、緊急的対応として、短期被保険者証を交付したい。6世帯で幼児2人、小学生3人、中学生4人が対象である。

に相当する。分割納付が、または、納付意志のある方は対象外で資格証明書を交付しない。

問 小学校卒業までの医療費無料化を今後検討すべきと思うが見通し等も持っているのか、すでに152の自治体で拡充し、中学卒業までのところも増えている。



大西 勉 議員

限界集落の復活

問 ある集落は、高齢化と過疎の進行によって生活基盤や伝統文化を維持できなくなってきた。それに伴い田畑の耕作さえままならない状況下にある。このままでは限界集落となり、やがては消滅するであろう。活性化の道はないか。

坂本農林振興課長

その危惧はある。農林業振興対策としてハードソフト両面から事業を行っている。例えば井内等の「どぶろく特区」河之内地区のNPO法人による米作りなど地域の活性化に努めている。



放棄され、荒れた田畑

地場産業の育成と商店街の活性化

問 東温市の業者が倒産あるいは廃業し多くの人々が失業している。

の振興や住民福祉の向上などに資するために利用するのであって政治的、個人的に使用すべきでないと思うがご見解をお伺いする。

高須賀市長

公民館、社会教育などの条例に特段の禁止事項はなく、公職選挙法にも抵触しないことを確認し許可を得たのであり、支持者の利便性を考慮した上でのことである。

武智生涯学習課長

公民館行事に支障がなく、利用制限にも当てはまらない。選挙管理委員会の判断も問題がなければ今後もお貸しすると思ふ。

大北総務課長

県の選挙管理委員会から公職選挙法には抵触しないと回答を得たので、その結果をお伝えした。

問 市長は選挙の出陣式において、中央公民館の駐車場を占拠したが一般常識として、緊急災害時など住民の生命財産を守る必要がある時、平時にあっては社会教育



片山 益男 議員

公平・公正であるべき市長が〇〇候補への応援演説に

問 昨年の10月26日に、市議会議員の選挙が行われた。今回の選挙は、定数6人減の激戦で、

22人の候補は連日厳しい戦いで、6票差での当落があった。市長は、その選挙期間中、立候補者22人中、数人から、要請があったとの理由で、特定候補者の決起大会等の応援演説など選挙の応援に駆けつけた。要請が有る無しにかかわらず、特定の候補者の選挙の応援に駆けつけたことに市民から批判があった。

高須賀市長

市長には公人としての許認可や行政指導など様々な面で、有形無形の影響力がある。東温市で、最高の権限・権力を持ち、社会的にも大きな影響力があることを自覚して頂きたい、市長の所信を伺う。

がん対策受診率アップを



近藤千枝美 議員

問 女性に多くなってきたがんの大腸がん・乳がんの検診受診状況と受診率アップの目標と取り組みは。

子宮頸がんによる死者数が日本では年間2千5百人に及び、20代、30代に増加している。子宮頸がんの予防に向けた啓発活動の推進を。

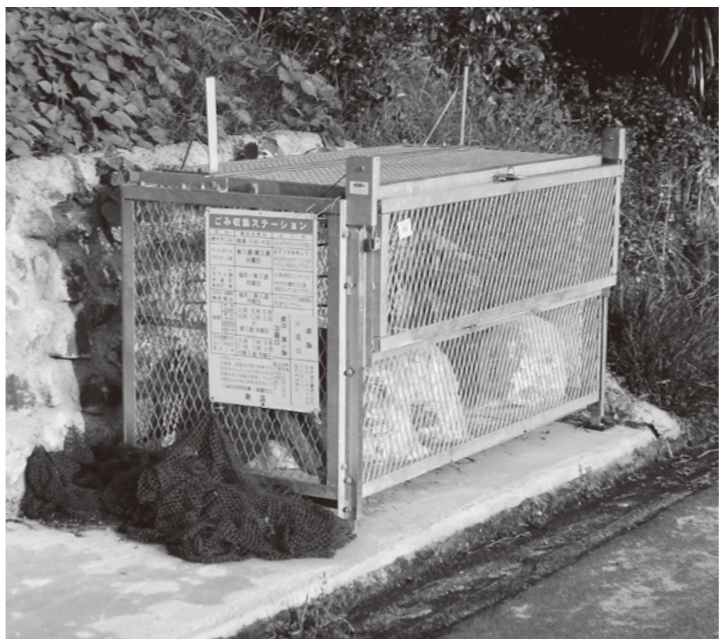
可燃物ゴミ集積場にダストボックスを設置しているが補助を

問 このダストボックスの設置でカラス・野犬等の害が無くなり、ゴミの取り扱いにも簡素で便利な上、集積場の後始末や、衛生面も清掃が容易であり、市内の環境美観にも役立っている。田窪地区では、51軒で8ヶ所の門口に出していたゴミを2ヶ所に簡素化した。

た。集積場の見直しで市のゴミ回収委託料の削減にもなるが。

伊賀生活環境課長

可燃ゴミの集積場は888ヶ所と数が多く、数が減れば収集委託料が減るのは間違いない。そのため統一を地区にお願いしている。ダストボックスは設置場所の確保が難しい上に、設置により交通の妨げになる恐れもあり、設置補助は考えていない。



ゴミ集積場のダストボックス

高須賀市長

100年に1度と言われる金融危機という厳しい経済状況の中、家計への緊急支援、低所得者層にも広く公平に速やかに給付することは、生活者の不安にきめ細かく対処することとして、一定の評価をしている。

事務作業は、年度末、年度始めの繁忙期と重なり、人員確保の問題等もあるが、混乱をきたすことのないよう万全の体制で臨みたい。

武智生涯学習課長

耐震補強に合わせて、トイレを含めた全体的な改修を予定している。図書館、歴史民俗資料館が未対応のため、早期に実施したい。

公共施設の整備について

問 中央公民館の障害者用トイレには鍵が付いていない。高齢者のために洋



中央公民館の障害者用トイレ



大西 佳子 議員

クリーンセンターは どうなるの

問 平成24年に協定期限が切れるクリーンセンターと山之内地域への支援について問う。

クリーンセンターの存続について検討の結果、施設は計画的に修繕するなどにより、あと数年は使用可能と思われるので、昨年からの地元山之内地区と断続的に話し合っている。期間延長には地元の皆様のご理解ご協力が必要である。協定書に謳われているとおり、地域支援については、関係各課と協議しながら、1つひとつ誠意をもって対応したいと考えている。

山内保健福祉部長



重信クリーンセンター

読み聞かせは重要

問 小中学生の読書力の現状と読み聞かせボランティアの募集の状況について問う。

山内教育委員会事務局長

市内の9つの小中学校すべてにおいて「朝読書」を実施している。中学生の1ヶ月の読書量は、平均3・4冊、東温市の中学1年生3・7冊、2年生3・9冊、3年生4・2冊と、全国に比べ多くなっている。ボランティアは各グループとも人手不足の現状にあるので、今後支援強化に努めたい。

子供の創造力は どこから

問 学校教育科目として文化芸術を積極的に取り入れることについて問う。

今後とも、地域と協力し、科目としては無理だが、活動事業として充実させていきたい。

野口学校教育課長

平成13年度頃から、愛媛県の「学校への芸術家派遣事業」・「本物の舞台芸術体験事業」・「心に響け日本の歌開催事業」など多くの事業を有効に活用して、子供たちが本物の芸術に触れる機会を、各学校ごとに年間1〜2回程度設けている。坊っちゃん劇場の観劇については、毎年、すべての小中学校で実施している。平成19年において2千人余りが観劇している。また、身近な地域の文化芸術も大事。市内にも伝統・芸能行事などが多くあり、児童生徒がこれらの事業行事に触れて、経験することは、創造性を刺激し、個性豊かな子供の育成に繋がっているものと考えている。



渡部 伸二 議員

防衛省・自衛隊は 隊員の生命と 人権を保障せよ

問 自衛隊員に対する戒告以上の懲戒処分件数は、毎年1千3百件にもぼる。そのうち2007年に防衛省が発した800件の内訳をみると、件数が多いもので、脱走270件、窃盗・横領100件、暴行84件、飲酒・悪質運転83件、性犯罪60件となっており、国家公務員職にあっては、ダントツの処分件数である。

しかし、なによりも驚くのは自殺者の多さである。過去5年間の平均で、毎年1000人の自衛隊員が自殺している。この数は米軍の2倍ともいわれている。脱走や自殺がこれだけ多数にのぼるといことは、自衛隊が、人間が人間でいられなくなるような異常な組織と化していることを推察させる。事実、自衛隊部隊内での上官による暴言と暴力、集団的ないじめが日常化しており、それにもなうストレスから、鬱病・ガンブル依存・アルコール依存に陥る隊員が少なくない。そんな中、2008年9月、海上自衛隊江田島基地において、東温市出身の特別警備隊訓練生で25歳の青年が、格闘訓練に名をかりた集団リンチと言わざるを得ない暴行を受け、死亡するという痛ましい事件が発生した。ここまで隊員の生命・人権・人間としての尊厳をないがしろにする自衛隊とは何なのか。防衛省は管理責任を果たしているのか。脱走や自殺の多発、犯罪と依存症の蔓延、



山内 孝二 議員

企業誘致・農商工連携・ 観光への対応姿勢と 具体策は

**2期目のトップ施策・企業誘致はど
う進む**

問 市長が機会ある毎に打ち出している企業誘致は具体的なものがあるのか。また、企業誘致により自主財源率を50%以上にすると云っているが実現の見通しは。



東温市最大級の商業施設(レスパスシティ)で観光スポットに成長したが...

高須賀市長 東温市総合計画に沿って進めているが、昨年6月施行された「企業立地促進法」のメリットを活かすため3月議会で現行の東温市工場誘致条例を改正し、愛媛県、松山市、伊予市、松前町の「愛媛県中予地域の基本的な計画」に基づく企業誘致を基本に取り組んでいく。

自主財源率50%は企業誘致することにより、雇用と法人市民税や固定資産税を増やし、財政を豊かにするための中長期的な努力目標として掲げたものだ。

不条理な暴力が横行するような組織は、疑いもなく、その中枢からして深刻な病理を抱えていると言わざるを得ない。東温市は法令に基づいて自衛隊員の募集や自衛隊主催の行事案内を広報している。その立場にあって東温市は、今回の事件について一定の責任があるはずだ。事件の真相の徹底究明と再発防止を自衛隊関係機関に強く要請し、真相が明らかにされるまでは自衛隊に関する広報宣伝活動を中止すべきである。事件発生から今日まで、市はご遺族に対してどのような対応を行ってきたのか。

加藤総務部長

哀悼の意を表することにも痛恨の極みであり、再発防止策と真相解明を期待する。事件発生後、本件のマスコミ報道が後になり、東温市として後追いになった。結果として何もできていないのが現状である。同様に、ご家族にお会いして哀悼の意を申し上げることもできていない。

農商工連携による 市の活性化対策は

問 農商工連携は地域振興・活性化の確かな方向であり、全国の優良事例88選に東温市のジェイウイングファームが選ばれた。市としてこのような事例に学び一歩踏み出した対応をすべきだ。

産業まつりも更にJ.A.生産者組織と一体になって新しい産業を追求する姿勢を示して欲しい。

菅野産業建設部長

農商工連携による「儲かる産業づくり」が求められており、市としても事業の発掘のため東温市独自の農林業者、商工業者等で構成する「農商工連携推進協議会」を設置する予算措置を検討している。

また、農商工が連携した「産業まつり」が本来あるべき姿であり、今後行政としてリーダーシップをとり商工会、JAとの協議の場を設けていきたい。

けることもできていない。広報宣伝については法定の事務であるためこれを停止することは考えていない。

問 報道が遅れたというが、10月の新聞報道からすでに2ヶ月が経過しているのだから、言い訳にはならない。

人間が病んでゆくような自衛隊組織の体質が明らかになってきている以上、公共の立場から道義的責任を自覚し責務を果たすべきではないか。

加藤総務部長

東温市出身の市民のことであるので、県とも協議し対応を検討したい。

【その他の質問】

少子時代こそ学校教育の充実を職員採用の試験委員に民間人の任用を憲法25条（生存権）の認識を問う／投票所入場券の配布もれについて



誇りと自信をもつて打ち出せる東温市の観光を

問 観光は「まちづくり」の集大成だと思いが東温市の観光が見えてこない。観光資源は何なのか。推進しめざしているものはどこなのか。広域観光連携推進協議会はどのような機能を果たしているのか。

大西産業創出課長

2市1町の広域観光連携推進協議会ではポスター、パンフレット、ホームページを作成し、県外での誘致宣伝活動に連携して取り組んでいる。今後更に連携を図り、坊っちゃん劇場を核に、立地条件を活かした農山村体験、各種交流イベント等での交流、また皿ヶ嶺連峰県立公園等の景勝地や文化財探訪等で東温市の観光イメージを形成したい。

東温市の観光はこれからだ。

総務文教委員会

当委員会に付託された案件

◎一般会計補正予算

全員賛成 可決

問・コミュニティ振興費補助金に対する事業費額は。

答・志津川区70万円、横灘団地区94万5千円、樋口区96万8千円、天神集会所下水道切替工事106万4千7百円。2分の1が補助額。

問・天神集会所、下水道切替工事の事業内容は。

答・敷地内の配管とトイレの水洗化。

問・社会教育指導員の業務は何か。また、増額となった理由。

答・各種講座の開催、人権教育、人権相談等の業務を行う。補正額は、指導員の交代に伴い、遠距離となったための交通費。

問・中央公民館、図書館工事施工監理委託は何か。

答・下水道排水設備工事施工監理。

◎職員定数条例の一部改正について

全員賛成 可決

問・東温市消防職員の場合、国が決めた基準より職員が少ないのではないか。国の基準は何人か。

産業建設委員会

産業建設委員会付託案件

◎一般会計補正予算

全員賛成 原案可決

問・有害鳥獣の種類別捕獲奨励金は。

答・猿1頭3万円、猪1頭2万円。

問・被害の把握と対応は。

答・市民からの通報等により、区長からの申請で、猟友会に捕獲許可を出している。

◎ふるさと交流館特別会計補正予算

全員賛成 原案可決

問・マッサージ機器の利用収入があるが、温泉地によくあるマッサージを置く計画はないか。

答・マッサージを置くことを検討中。

問・温泉の燃料は何か。

答・燃料は、A重油とプロパン。

問・燃料費の補正は、現在、価格が急激に下がっているが、今後の見込みはどうか。また、原材料費の増額補正相当額を軽食販売収入として歳入に計上している。実際の売上げは、いくら増える見込みか。

答・急激な価格変動のため、A重油購入に当たって毎月、契約を更新して対応。軽食販売の売上げは、200万円以上増える見込み。

問・軽食販売のメニューと売上げの多いものは何か。

答・メニューは、定食・そば類・うどん類とカレー。どんぶり物のご飯



田窪団地集会所 安全祈願祭

厚生委員会

厚生委員会付託案件

◎一般会計補正予算

全員賛成 原案可決

問・重度障害者医療費が増えた理由は何か。

答・受給者数は当初と変わっており、ひとり当たりの医療費が増加。

問・児童扶養手当の増額の要因は母子家庭が増加のためか。

答・平成20年4月児童扶養手当法の改正により、母子家庭の自立を促進する目的で見直され、手当を受け始めて



平成20年12月20日 志津川地区にあるグループホーム アンダントにて、餅つきが楽しく行なわれました。ボランティアの方々にお手伝いを頂き、たくさんのお餅ができました。

類。地産地消やブランドづくり取り組みの一環で、米や麦を使った定食を増やしている。売上げの上位を占めるのは、餅菓子・定食等で、今年の売上げは3,300万円程度を見込んでいる。

◎農業集落排水特別会計補正予算

全員賛成 原案可決

◎公共下水道特別会計補正予算

全員賛成 原案可決

問・川内・重信地区の整備状況は。

答・川内地区93・7%、重信地区66・6%。全体計画の進捗率、川内地区70・7%、重信地区36・7%。

問・処理場で大地震のときの対応は。

答・整備水準はレベル2（震度7程度では機能が保全される）管路の整備水準はレベル1（震度5程度では機能が保全される）。

◎道路占有料徴収条例の一部改正について

全員賛成 原案可決

◎土地改良事業計画（井内上地区）変更について

全員賛成 原案可決



「浄化センター」(南野田)を視察

◎国民健康保険特別会計補正予算

全員賛成 原案可決

◎後期高齢者医療特別会計補正予算

全員賛成 原案可決

◎介護保険特別会計補正予算

全員賛成 原案可決

問・パソコン22万4千円は高いのではないか。

答・国、県、国保連合会、支払い基金等とネットワークを組む必要があるため、それに適合したパソコンが必要である。

◎東温市母子家庭医療費助成条例の一部改正について

全員賛成 原案可決

◎東温市父子家庭医療費助成条例の一部改正について

全員賛成 原案可決

◎東温市重度心身障害者医療費助成条例の一部改正について

全員賛成 原案可決

◎子宮頸がん予防ワクチンに関する意見書

可決

委員会報告





反対討論

渡部 伸二

◆「東温市国民健康保険条例の一部改正」議案に反対せざるを得ない。

本議案は、09年1月から厚生労働省が導入する予定の「産科医療補償制度」にともない、妊婦が支払う保険料3万円を、「出産育児一時金」35万円に上乗せするものだが、この制度自体多くの問題を抱えている。

「産科医療補償制度」では補償対象を、重度脳性マヒ児であって、出生体重2kg以上かつ在胎週数33週以上のケースに限定しており、染色体異常・奇形などの先天性要因や分娩後の感染症などによる脳性マヒは、補償対象から除外しているのはなぜか。そもそもなぜ重度脳性マヒだけが補償対象なのか。この疑問に厚生省は答えていない。障がいをもった子どもと家族を救済するというのなら、本当に希望をもって生きてゆけるように制度設計を根本からやり直すべきだ。

松山法人会

東温支部30周年記念コンサート

松山法人会東温支部200社（大野衛佑支部長）の設立30周年記念事業の一環としてエスペランサのトーク&コンサートが1月10日、坊っちゃん劇場で開催された。

エスペランサは、厚生労働省指定難病のクローン病を患う奥田良子さん（フルート・オカリナ担当）と奥田勝彦さん（ベースギター担当）の夫婦ユニットバンドで、神戸を拠点に全国でコンサート活動を行っている。

今回は、出逢いに感謝というテーマのもと「千の風になって」など8曲を披露した。

曲間には、勝彦さんのベースギターの温かな音色に乘せて、良子さんが「21歳の時に小腸と大腸に潰瘍ができ、一生完治しないクローン病を発病しましたが、フルート演奏という夢と多くの人との出逢いが病の間から救ってくれました。」と話し、「難病患者が自分の力で生きていくためには、周りの方々の理解が必要です。クローン病のほかにも多くの難病があり、それと闘っている人がたくさんいます。難病に関心を持ってください。その病気を知っているよ」という一言が、難病患者の勇気と

なります。」と優しい口調で強く訴えた。

エスペランサとは、ラテン語で「夢」「希望」という意味だ。夢を持ち続け互いに支えあう2人の経験談と生きる希望にあふれたフルートの音色に触れ、来場者約450人が深い感動に包まれた。

来場したアカシアの会和田会長と東温市連合婦人会山本会長は、「2人の演奏と難病を乗り越えた話に涙し、感動しました。」「元気をいただき、ありがとうございます。」と感想を述べた。

松山法人会東温支部は、今後も東温市の発展と地域経済の活性化に貢献できる活動が続けていきたいとの佐伯正夫実行委員長のあいさつで感動のコンサートは終了した。



陳情・訪問

東温市商工会

1月15日、商工業の振興、地域経済の発展、地域福祉の増進のため、平成21年度補助金交付の陳情に來られました。



東温肢体不自由児・者父母の会

平成20年11月20日、東温市障害者基本計画及び障害福祉計画の推進にあたり、独自の施設を創設する等4つの要望を出されました。



討論

人シリーズ 6

地域を元気にする

鎮守の森をめざして



愛媛タウン宇氣洲神社総代表

武智 保則

現在69歳。田窪地区宇氣洲神社総代表として4年、神社に人が集まり、地域が元気になることをしたいと願っていたところに大きな出会いがあった。

「NPO法人教育倫理ラザ」は、子育てと社会奉仕の一環として宇氣洲神社の清掃を毎月行っていた。ボランティアの人たちとの交流は新鮮だった。交流をきっかけに地域の活性化と地域への奉仕が結実した。

宇氣洲神社を会場としての「ジャズの夕べ」の開催であった。ゼロからのスタートは準備が大変だ。意見もぶつかった。

演奏のクラッシュ・ジャズ・オーケストラも神社の総代の皆さんもNPO法人も田窪区の各種団体もそれぞれめざすものは少しずつ違うが、互いの信頼がイベントの成功へ

と繋がって行った。

人の繋がりはすばらしい。すべただ働きと手弁当ですばいコンサートが実現した。

コンサートも今年で2回目を終えた。これをきっかけとしてエレキバンドと和太鼓、絵看板とコピスの会の絵画を組み合わせた「ギャラリ！インUKISU」という夜のイベントも行った。

田窪という地域を愛し、イベント活動を通して人が集まり、人の出合いが生まれ、地域が元気になるっていく。人とのふれあいや音楽とのふれあいは私の無形財産となった。



地域を元気にする鎮守の森



ジャズの夕べ

市民の声



洪柿さくら句会代表 次生さん 松田

仲間と俳句を 楽しんで

平成5年、川内老人クラブの文化部として「俳句クラブ」を結成し、21名で出発した。

近藤良郷先生を迎えて、月1回の句会から始めて、2年後に合同句集「長寿」を出版し、好評を得た。県立図書館にも乞われて寄贈した。それ以来、会員も増し、平成20年には、第7集を出版することができた。

今では「さくら句会」と会の名前も改め、老いも若きも、俳句を愛し、友を愛し、故郷を愛しながら睦み合っています。楽しく続けて行きたいと思っています。

わが影に怯えつ水を盗みけり

次生

議会を傍聴しませんか

市議会では1人でも多くの皆さんが傍聴され、議会活動を通じて市政に対する理解を深め、市政に参加されることを望んでいます。

3月議会の日程(予定)

18	13	12	11	10	6	3
水	金	木	水	火	金	火
開	各	各	一	一	質	開
閉	委	委	般	般	疑	会
会	員	員	質	質	問	
	会	会	問	問		

市街地見直し・地域活性化等 調査特別委員会設置

佐伯正夫委員長の第1回 特別委員会あいさつ概要

アメリカ発の世界的不況、日本経済は、非常に困難で先行き不透明な状況である。

こうした状況は、国の行財政改革の後退を招き、新たな国債発行の原因となっている。この逼迫した財政状況の中で、東温市が新たな行政需要に応え、市民が豊かさを実感する元気なまちづくりを行うためには、今まで以上の自主財源を必要とする。そのためには、限られた地域資源を効率的に活用し、地域産業を活性化することが求められる。

1つは、積極的に観光交流を活性化させることである。見奈良天然温泉利楽、隣接する坊っちゃん劇場。また、上林森林公園の風穴とソーマン流し。スポーツ施設としては、スノーボード施設アクロス重信。川内地域では、白猪の滝と市営温泉施設「ふるさと交流館さくらの湯」こうした誇れる

る観光資源を利用して、地域住民が一体となって地域活性化の起爆剤として育て上げる。そのためには地域コミュニティの復活も必要と考えている。

もう1つは、恵まれた立地条件を生かした企業誘致である。雇用の確保と税収増のため、行政はその受け皿作りに積極的に取り組まなければならない。

東温市は、位置的立地条件、交通立地条件と非常に恵まれているが、十分に活かされているとはいえない。

従来から多くの企業が東温市を移転や新設の対象地として検討してきたが、農業振興地域の指定であったり、都市計画の網がかかっていたり、また、地形上の問題があったりして実現しなかった。現在の国道・県道の周辺が開発できないような都市計画は不合理と考える。

旧重信の第1期の企業誘致に見るように、東温

市の立地条件と誘致する土地が確保できれば多くの企業が参入することは確実である。また、既に東温市に拠点を置いていた企業の拡張や周辺の整備の要望にも積極的に応えることは企業留置としてやらなければならないことである。

都市計画の見直しは現在基礎調査の段階で、議会の見直しに関する要望や提言は、最速の時期であり、新設の「市街地見直し・地域活性化等調査特別委員会」において研修や研究を行い、市民のためになる都市計画の見直しの実現をめざしたい。

- 委員長 佐伯 正夫
- 副委員長 安井 浩二
- 委員 山内 孝二
- 大西 勉
- 近藤千枝美
- 細川 秀明



視察・研修

■高知県香南市議会

11月14日、東温市学校給食センターの建設について議員8人、教育委員会事務局員1人、議会事務局長合わせて10人の皆さんが行政視察に来訪されました。



香南市議会の皆さん

■千葉県八街市議会

11月6日、温暖化対策（太陽光発電等）について議員3人が行政視察に来訪されました。



八街市議会の皆さん

■栃木県矢板市議会

11月5日、バイオマス利活用による資源循環型まちづくりについて議員4人が行政視察に来訪されました。



矢板市議会の皆さん

■徳島県阿波市議会

11月4日、東温市環のまちづくりプロジェクトについて議員6人、事務局員1人が行政視察に来訪されました。



阿波市議会の皆さん

●編集後記

市政2期目、4人の新人議員が加わり18人でスタート。議員の資質は勿論、

地方議会のあり方が根底から問われている現在、この「議会

だより」は市民の皆さんにとつて私達議員・議会を知り、チェックする貴重な材料となるはずです。

地方分権改革の中で基礎自治体の議会に、議員に期待されている役割は大きいものがあり、私達は（市民の皆様へ）民意を反映し、その役割を担える議員であるために努力を重ねるお約束をして選任されました。

常に関心と厳しく温かい「目」をいただきますようお願いいたします。

(山内 孝二)

発行責任者 編集委員

委員長

山内 孝二

副委員長

片山 益男

委員

大西 勉

顧問

酒井 克雄

丸山 稔

佐伯 浩一

大西 佳子

佐伯 正夫